

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成26年度第3回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成27年1月15日(木) 14:00 から 16:00
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
III. 参加者：木村委員長、久保田副委員長、遠藤委員、深谷委員、吉田清委員、大竹委員、
毛利委員、齋藤委員、柿本委員、川崎委員
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. ICT 活用コースの開催結果について

12月5日に武庫川女子大学でICT活用コースが開催され、102名（57大学、1短期大学、賛助会員企業4社）の参加があった。

- ・ 会場の図書館施設見学を設定したが、ほぼ全員の参加になったようで満足して帰られた様子であった。
- ・ 研修会全般では、アンケートで8割程度の理解度の回答であった。
- ・ 意見交換の時間について、質問をその場で求めた方と紙に書かせる方にわかれた。事前の質問は困難であるが、紙に書かすことで質問が集まりすぎた感があった、1、2項目に絞った形にするのが良いかと思われた。ただし、参加者が紙に書いた実績としては参加意識ができたとも思われた。
- ・ 実施日程については、アンケートから1日の要望が多かった。
- ・ 事例の選定が難しいことから、自大学の課題を考慮した内容が求められるか。課題については、基調講演で対応を考えるか。ICTに関する内容も必要であったのか。
- ・ 反転授業への興味が見られたと思われる。
- ・ 学修についていけない学生へ現場の対応の話などはどうか。
- ・ IRの理解には具体的な事例を出すことが有効ではないか。

2. 27年度の研修会開催について委員の意見

- ・ 基礎については、3月に案内をかけることが考えられないか。
- ・ 基礎にタイムスケジュールは、休憩、情報提供の時間、自己紹介の時間について見直す必要がある。
- ・ 発表は、グループのものも聞きたいとの意見があった。2日目が討議が続くので情報提供を挟んではどうか。
- ・ 分科会での解散ではなく、最後に集まってはどうか。発表をみんなで聞きたい意見もあった。最後に優秀グループの発表をしてはどうか。
- ・ 新人研修の意味合いがあり、現状を踏襲してはどうか。
- ・ ターゲットについては、2～3年目にしたはどうか、情報の専門としては内容不足と感じるか、レベルを絞ってはどうか。
- ・ 2日目の資料完成までにグループ差がみられる。
- ・ 基礎とICT活用の2本立てで良いのか。テーマにより興味が高いと思われる。
- ・ 参加者も多様化され、委員の専門性、またはファシリテータとしての位置付けなど課題とされると思われる。
- ・ 情報提供は2本程度か、2日目に提供する場合、関連しない情報提供を入れることについて影響はどうか。

- ・ 全体での発表にためには、切り口のテーマを決めなければならないか、別の話として理解することができるかどうか。
- ・ 議論型と情報提供型として研修を分けてはどうか。
- ・ 職員が動き、教員、大学全体に改革行動を働きかける動きが求められている。
- ・ 基礎的な知識はネットでの情報提供で良いのではないか。
- ・ 事例として規模や配分が異なるので、高いレベルではなく部品的な提示が出せないか。
- ・ 大学全体のレベルを上げること。ただし、地域などで配られる財源でできることのアイデアの議論。
- ・ 情報提供は目指すところを出して、実現可能な方法を考えさせてはどうか。
- ・ 予算や規模によらないアイデアを考えさせてはどうか。
- ・ 募集では新人とベテランの区分けはわかりやすい。
- ・ 職員が先生方の大会発表などの取組みを聞くべきではないか。
- ・ 職員の取組みのエビデンスから取組み候補を絞って、その話を聞いてもらうことではどうか。情報環境調査の結果などから検討してはどうか。

V. 今後のスケジュール

- ・ できれば情報環境調査の結果から 3 月に検討を進める必要がある。